

【給食協会賞】工夫いっぱい給食

安城西部小学校 藤井 美羽

わたしは、給食を食べて感じたことが三つあります。

一つ目は、栄養も考えているのにすごくおいしいことです。学校の焼きそばは、野菜がたくさん入っているけれど、ソースとよく合っていて、わたしは大好きです。いつも、おかわりする人がたくさんいて、大行列ができます。

二つ目は、給食が食べやすいことです。前に一年生が、

「おいしい。おいしい。」

と、言いながら、くしゃつとした笑顔で食べていました。一年生でも食べやすくなるために、どんな工夫がされているのかを考えてみると、食べ物を小さめに切っていることに気付きました。おいが強く、食べにくい野菜も小さくして混ぜ込むと、気にせず食べることが出来ます。

それから、骨があつて食べにくい魚は、やわらかくにこんであります。骨までやわらかくなっているの、わたしは骨がささったことがあります。ちゃんと安全も考えながら作ってくれているのだなと思いました。

三つ目は、食べたくなるような新しいメニューや、変わったメニューが出てくることです。こんだて表が配られた時、グレープフルーツが酸っぱくて、野菜が苦くて、おいしくないんじゃないかとも思うし、

意外と合うかもしれないと、全く予想がつかなくて、すごく気になりました。友達に聞いてみると、

「すっぱくておいしくないと思うよ。」

と、言っていたので、確かにそうだなと思ったけれど、お母さんは、

「ドレッシングにレモン汁が入っていることがあるから、グレープフルーツでもおいしいと思うよ。」
と言うので、どちらの意見もあつて、ますます分からなくなりました。

ついに、グレープフルーツサラダが給食にできました。わたしの家では、ふだんサラダに果物を入れないので、すごくめずらしくて、どんな味がするのか、すぐに食べて確かめてみたくなりました。いただきますの合図の後、わたしは、すぐにサラダを食べてみました。グレープフルーツの酸味と野菜の甘みがとてもあいしょうが良くて、かめばかむほどおいしくなるので、すごく幸せな気持ちになりました。

給食は見た目や味だけではなく、栄養も、ちゃんと考えて作ってくれています。でも、いそがしい時には、カップラーメンなど、栄養が、かたよつてしまふものを食べる家も多いと思います。でも、学校給食は、年間百食以上をほぼ毎回ちがうメニューでなるべくお金をかけずに、たくさんさんの量を安全に作っているなんて、すごいと思います。

わたしが、給食を食べることが出来るのは、家族や、給食を作ったり、考えたりしてくれる人達がいって、わたし達のために、がんばっているんだなと思いました。ありがたいことだと思いました。